

YIC 情報ビジネス専門学校 第 2 回 学校関係者評価委員会 議事録

1. 会議概要

項目	内容
名称	2025（令和 7）年度 第 2 回 学校関係者評価委員会
日時	2026 年 3 月 17 日（火） 16:00～
場所	YIC 情報ビジネス専門学校（一部オンライン参加）
出席者	臼渕 厚史、福本 百合江、高村 奈生人、阪上 誠、阿部 誉久（団体）、兼重 顕治、井ノ上 隆志、河津 道正（校長）、小田 政江（副校長）、日當 泰浩（事務長）、森野 茂弘（教務課長）、豊田 菜摘（教務課長補佐）、三船 龍（事務長補佐）
欠席者	中野 園子（緊急手術のため）
議長	臼渕 厚史様

2. 議題別の議論詳細

【議題 1】令和 7 年度 自己点検・評価報告

- 説明内容:
 - 2025 年 9 月に発行された「2025 年改訂版ガイドライン」に基づき、6 つの項目で自己点検を実施した。
 - 評価は 3 段階（3:基準を上回る、2:基準を概ね満たす、1:要改善）で行われ、大半の項目で「2」としたが、管理体制等の不備により 3 箇所で「1」を付けた。
- 項目別の主な質疑応答・意見:
 - 項目 1:教育理念・目的・目標（評価 2）
 - 福本 様:学生へのビジネスマナー、特に食事のマナー教育はどの程度行われているか。会食等の機会に備えた指導が必要ではないか。
 - 森野教務課長:週 1 回 90 分の「パーソナルスキル」の授業で名刺交換や敬語を指導している。食事マナーはホテルブライダル科等で専門的に教えているが、コロナ前に行っていた全学対象のマナー教育の復活も検討したい。
 - 項目 2:教育課程・教育実施・学修成果（評価 2）
 - 坂上 様:留学生向けの 300 時間以上の授業の内訳は何か。また、就職率等の具体的な数値を出すことで評価「3」への引き上げも検討できるのではないか。

- 河津校長: 日本社会理解(履歴書指導、面接、業界理解等)で 300 時間を確保している。
- 項目 3: 学生の受入れ・学生支援(評価 2)
 - 阿部 様: オンライン教材の活用や限定授業の現状はどうか。
 - 河津校長: 生成 AI 等の技術進歩が速い分野で動画教材を活用している。また、体調不良者向けに自宅からのオンライン参加も可能にしている。
 - 福本 様: 合格後の学費納入の期限について、保護者への事前周知をより丁寧に行う必要がある。
- 項目 4: 教育実施組織・教員(教員間連携: 評価 1)
 - 森野教務課長: 非常勤講師との定期的な会議と議事録の作成が不足しているため、ガイドラインに基づき「1」とした。
 - 阿部 様: 会議の時間を取るのが難しければ、IT ツールや AI を活用した情報共有を検討してはどうか。
- 項目 5: 教育環境(施設設備の点検: 評価 1)
 - 森野教務課長: 施設設備の目視点検結果を記録する「点検表」が未整備であるため「1」とした。
- 項目 6: 教育活動の基盤と改善・向上の取組(改善への組織的取組: 評価 1)
 - 森野教務課長: 評価結果をどの部署がどのように改善するかという責任体制が不明確であるため「1」とした。

【議題 2】令和 7 年度 企業連携・コンテスト受賞報告

- 説明内容:
 - メディアデザイン科: 山口県広告大賞学生部門 準グランプリ(6 月)、ジーンズメイト T シャツデザインコンテスト全国 3 位(7 月)、日本パッケージデザインコンテスト学生賞 入選(12 月)。
 - 情報工学科: 山口県警より「サイバーパトロール」活動に対し感謝状を授与(6 月)。
 - ホテルブライダル科: 電話対応コンクール山口県大会で新人賞・特別賞を受賞(10 月)。
 - 産学連携: 株式会社テクノプロ・テクノプロデザイン社による体験型ワークショップの実施(1 月)。

【議題 3】令和 8 年度以降の取組(学科コース改変)

- 河津校長:
 - 2026 年度新設: 入学後に進路を検討できる「マイプロジェクトコース」をビジネス科に開設する。
 - 2027 年度再編: 情報工学科(3 年制)を、生成 AI 活用に特化した「スマート AI コース(2 年制)」と、4 年制の「先端 IT コース(ハイブリッドスタディ科)」に再編予定。
- 質疑応答:
 - 臼淵 様: マイプロジェクトコースの初年度の動向は注視すべきであり、学生がどのように成長したかのデータを蓄積してほしい。

3. 決定事項・承認事項

- 令和 7 年度 自己点検・評価報告書の承認: 評価「1」の項目(教員間連携、施設点検表、改善責任体制)について、次年度中に改善策を講じることを前提に承認された。
- 学科コース改変方針の承認: 時代のニーズに合わせた「マイプロジェクトコース」の新設および情報系学科の再編方針が支持された。

4. 今後の課題・次回予定

- 今後の課題:
 - 非常勤講師との定期的な連絡・情報共有体制の構築(評価 1 の改善)。
 - 施設設備の目視点検表の作成と運用開始(評価 1 の改善)。
 - 自己点検結果を組織的に改善するための手順書作成と責任部署の明確化(評価 1 の改善)。
- 次年度開催予定:
 - 第 1 回 委員会: 2026 年 10 月 21 日(水)
 - 第 2 回 委員会: 2027 年 3 月 17 日(水)